

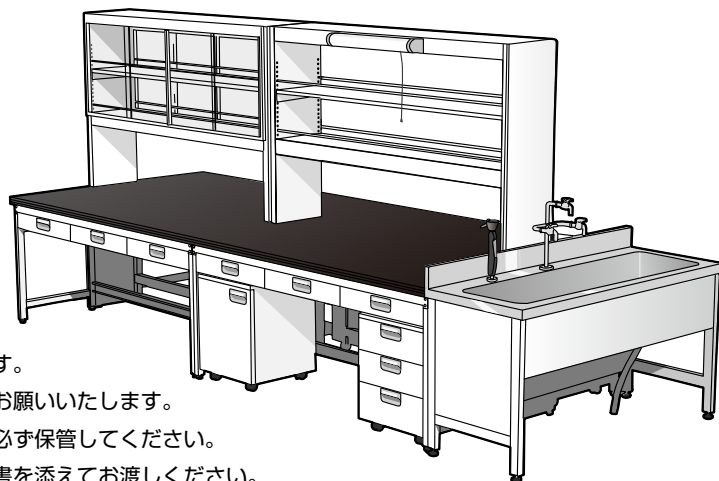
本社	〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜 2-5-20	TEL 072-436-0251 FAX 072-436-0259
福島工場	〒963-8116 福島県石川郡平田村大字西山字煙石 101	TEL 0247-24-1511 FAX 0247-24-1521
北海道支社	〒065-0041 北海道札幌市東区本町一条 8-2-3	TEL 011-784-8161 FAX 011-785-5788
東京支社	〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-3-15	TEL 03-3669-0800 FAX 03-3669-0824
中部支社	〒485-0044 愛知県小牧市常普請 1-2-1	TEL 0568-75-7811 FAX 0568-75-7733
大阪支社	〒556-0011 大阪府大阪市浪速区元町 3-2-20 三進大阪ビル	TEL 06-6633-6535 FAX 06-6633-6536
九州支社	〒818-0131 福岡県太宰府市水城 6-35-6	TEL 092-925-4200 FAX 092-925-4141
京都支店	〒600-8357 京都市下京区五条通堀川西入ル柿本町 579(五条堀川ビル 6F)	TEL 075-341-3005 FAX 075-341-3008
名古屋事務所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 1-18-1 ハイッサンライズビル オフィス 2E	TEL 052-218-8611 FAX 052-222-7076

取扱説明書 兼 組立説明書

スチールラボシステム

EcoPlatte II

エコプラッテ II



このたびは、スチール製実験台“エコプラッテ II”をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書は、使用上の注意事項と組立方法について記載しています。

この説明書をよくお読みのうえ、正しい方法で組み立て、ご使用をお願いいたします。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

また、この商品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本取扱説明書を添えてお渡しください。

※本品には組立施工に必要な工具は付属していません。

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）



警告

この警告事項を守らなければ、死亡または重傷などを負う可能性があります。

分解禁止。分解・移設は専門業者にお任せください。

事故によりけがをする恐れがあります。

廃棄するときは専門業者にお任せください。

天板及び引出しの耐荷重を超えて使用しないでください。

一箇所に重い物を載せないでください。

変形、破損、落下によりけがをする恐れがあります。

引出しを開いた状態で、肘をかけたり、腰掛けたりして荷重をかけないでください。

変形、破損、落下によりけがをする恐れがあります。

引出しには危険物(薬品・壊れ物等)を収納しないでください。

発火したり、けがをする恐れがあります。

ネジ類が緩んだ場合は増締めをしてください(定期的に点検してください)。

緩んだまま使用すると、変形や破損及び転倒などの原因になります。

製品の改造や、部品をはずしたり、はずれたままで使用しないでください。

事故の原因になります。



注意

この注意事項を守らなければ、傷害を負うかまたは物的損害が生じる可能性があります。

荷物を投げて載せないでください。

天板がたわみ、荷物が落下してけがをする恐れがあります。

平坦な場所で使用してください(アジャスターを調整し水平に設置してください)。

転倒したり、荷物が落下して破損したり、けがをする恐れがあります。

堅い物を当てないでください。傷つくことがあります。

天板に水などをこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。

製品のガタつき、反り、ひび割れ、変色の原因となりますので、以下の場所でのご使用は避けてください。

- 屋外 ●直射日光や熱(暖房器具)のあたる場所 ●高温、多湿、乾燥する場所 ●水平でない場所 ●段差、傾斜のある場所 ●振動の激しい場所

カート上・中・下段のいずれかの引出しに偏った収納をしないでください。

引出した際に本体が倒れてけがをする恐れがあります。

カートをご使用の際は必ずキャスターのストッパーをかけてからご使用ください。

カートの引出し・開き扉を開けた際にカート本体が前に出てしまうことがあります。

引出しの開閉に注意してください。

取っ手以外の部分に触れたまま開閉しないでください。手を挟んでけがをする恐れがあります。

踏み台や重い物の置き台代わりに使用しないでください。

転倒による事故、落下物によるけがをする恐れがあります。

2つ以上の引出しを同時に引き出さないでください。

バランスを失って本体が倒れてけがをする恐れがあります。

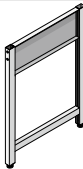
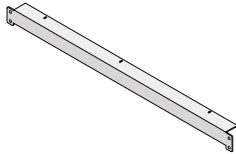
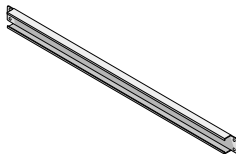
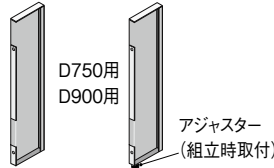
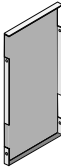
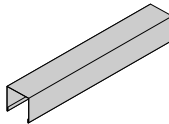
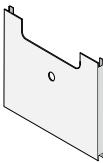
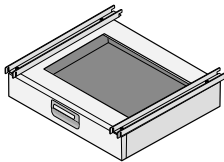
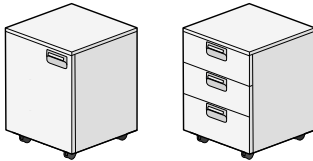
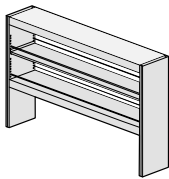
耐荷重の範囲内でご使用ください。

取扱説明書及び一部商品に明記(表示シール)してある耐荷重(等分布)の範囲内でご使用ください。それ以上載せたり、荷重が片寄ったりすると事故や製品破損の恐れがあります。

●耐荷重 本体…200kg/ワンスパン(等分布、静荷重) 引出し…15kg/杯

一点荷重を加えないでください。

反りや凹みの原因となります。

構成部材表		サイズ、型式、特型などで寸法、数量が異なります。必ずしもこの表通りではありません。			
部材名/姿図		数量		特長	適応機種
		中央式	サイド式		
基本モジュール	天板 	W1500 ～ 1800×1枚 W2400 ～ 3600×2枚	W900 ～ 1800×1枚 W2400 ～ 3600×2枚	BF天板使用	サイド実験台 中央実験台
	実験台フレーム 	W1500 ～ 1800×4脚 W2400 ～ 3600×8脚	W900 ～ 1800×2脚 W2400 ～ 3600×4脚	右用、左用があります。 ビーム取り付け穴にはブラインドナットが埋め込まれています。	サイド実験台： D600・D750・D900 中央実験台 D1200・D1500
	上部ビーム 	W1500 ～ 1800×4本 W2400 ～ 3600×8本	W900 ～ 1800×2本 W2400 ～ 3600×4本	実験台フレーム上部の前後に取り付けます。	サイド実験台 中央実験台
	下部ビーム 	W1500 ～ 1800×2本 W2400 ～ 3600×4本	W900 ～ 1800×1本 W2400 ～ 3600×2本	実験台フレーム下部後ろ側に取り付けます。 上下3段ピッチで高さを選べるようになっています。	サイド実験台 中央実験台 ※D900用はプラス1本追加となります。
	側面後ろパネル D600用 D750用 D900用 アジャスター (組立時取付) 	—	2枚 (右用、左用あり)	実験台フレームの後ろ側に取り付けます。 実験台の側面連結部には取り付け不要です。 側面の設備隠しです。	サイド実験台： D750・900用 D600用
	側面中央パネル 	2枚	—	実験台フレームと実験台フレームの間に取り付けます。 側面の設備隠しです。	中央実験台： D1200用 D1500用
	連結カバー 	W2400以上のサイズに付属 2本	W2400以上のサイズに付属 1本	2組のフレームの連結部に使用します。	サイド実験台 中央実験台
準基本モジュール	けんどん板 	W1500×4枚 W1800×6枚 W2400 ～ 3000×8枚 W3600×12枚	W900 ～ 1500×2枚 W1800×3枚 W2400 ～ 3000×4枚 W3600×6枚	フレーム後ろ側の上部ビームと下部ビームの間にはさみ込んで使用します。	サイド実験台 中央実験台
	吊り引出し 	材 質：本体/スチール、把手/PP		サイド実験台・中央実験台共通 W900・W1200・W1500・W1800 ※間口サイズによって引出しの個数は変わります。	
	ワゴン 	型 式：3段引出し、片開き扉 材 質：本体/スチール、把手/PP キャスター自在4個(S付2個、S無し2個)		サイド実験台 中央実験台 ※単独でもご使用できます。	
	試薬棚 	型 式：H1100 有効2段(中棚板はピッチ調整可能) 材 質：本体/スチール、落下防止バー /塗装鋼管 ガラス戸：厚さ3mm 一般ガラス フレームは内パネル一体型、落下防止バーは標準で装備し、ガラス戸付の場合も落下防止バーは付属します。 D200用は壁面固定してください。 ※固定金具・アンカーは付属していません。壁の材質に合わせて別途ご用意ください。		サイド実験台： D200 中央実験台： D340	

お願いとご注意

お手入れの方法

- 著しい汚れは、薄めた中性洗剤につけた布をよく絞って汚れを拭いてください。その後、乾いた布で空拭きしてください。
- 実験に使用する薬剤や溶媒が誤って付着した時は、速やかに拭き取ってください。
- ベンジン・アルコール・シンナー類及び化学ぞうきんは使用しないでください。表面仕上げのキズや変色の原因になります。

故障と思う前に（不調診断）

トラブル内容	処置方法
実験台本体がグラつく	各部材が確実に取り付けられていますか？▶ ボルトを締めなおしてください。
吊り引出し等がガタつく	引出しの部材が確実に入っていますか▶ 確実にはめ込んでください

保証と修理について

(1) 保証期間はご購入日より 1 年間です。この取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には本記載内容に基づき無償修理いたします。

(2) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

①改造又は分解による故障及び損傷。

②ご使用者の責任に帰すると認められる故障及び損傷。

③火災や天災による故障及び損傷。

(3) 保証期間経過後の修理は、有償となります。

不要になった製品の回収・リサイクルについて

不要になった製品の引き取りをご希望の場合には、適切な処理を行う回収業者を紹介いたします。弊社サイエンス事業部までお問い合わせください。回収した製品は適正にリサイクルされます。

※回収・リサイクル費用はお客様の実費負担となります。

組み立てに必要な工具

- M4、M6、M8用六角ボルトレンチ又は、電動インパクトドリル
- プラスドライバー
- カッターナイフ

(天板に大型の穴を開ける場合)

- 電動ドリル（鉄工用キリ、φ4mm、φ10mm）
- ホールソードリル 鉄工用φ30～33mm

その他、必要に応じて適切な工具をご用意ください。

※試薬棚を取り付けるタイプは工場出荷時に天板に穴加工がされています。組み立て時の穴加工は必要ありません。

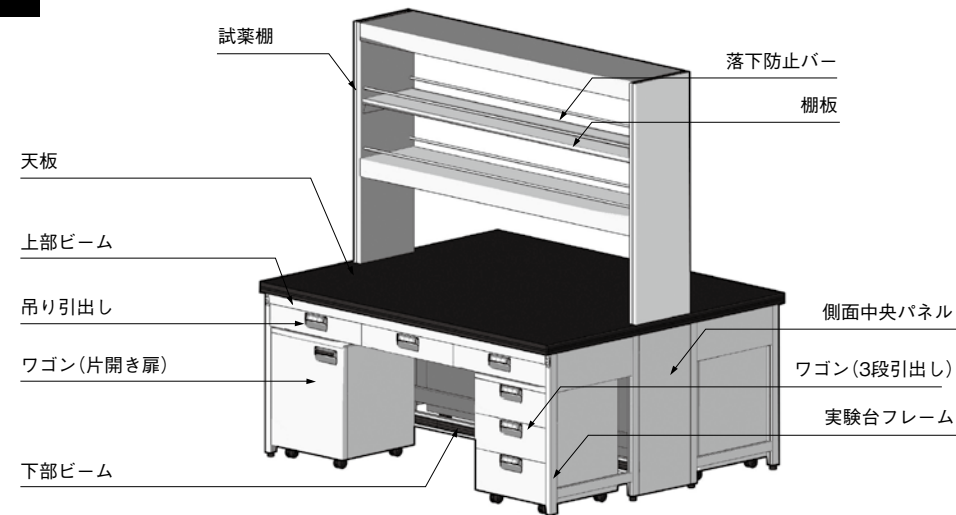
ユーティリティ取り付け時の注意

卓上コンセント、ガスコックの取り付けで天板穴加工する時は、天板の補強に注意してください。

穴は裏面に補強のない箇所に加工してください。

実験台の組み立て

各部の名称

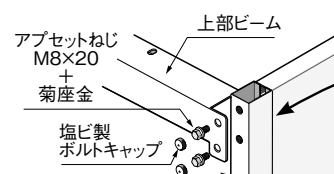


フレームの組み立て

①実験台フレームと上部・下部ビームの締結してください。
この時点で実験台の枠組みができます。
下部ビームは上下3段いずれかの位置に取り付け可能になっていますが、
原則として最下段を取り付け位置とします。

平ワッシャを使用せずに菊座金を使ってネジを締め付けると製品の塗装面に傷をつけることがあります。しかしこの菊座金はボルトが機器の振動などで緩んでくることを防止する役割をします。

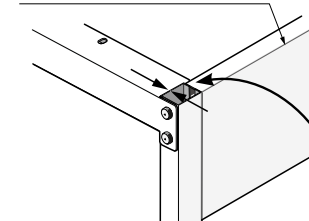
上部ビーム取り付け詳細



下部ビーム取り付け詳細



実験台フレーム(右用、左用あり)



ビームのこのエッジ部分は実験台フレームにぴったりと当てて固定してください。
当てることで正確な間口寸法が確保されます。

側面後ろパネル 側面中央パネル 取り付け詳細

②フレームの組立てが完了したら、
サイド実験台は側面後ろパネルを、中央実験台は側面中央パネルを取り付けます。
中央実験台はもうひと組の枠組みを、側面中央パネルで背合せするように取り付けます。

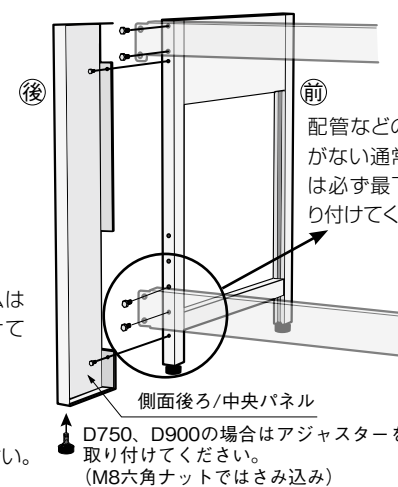
M8(上部ビーム取付位置)

M6(側面後ろ/中央パネル取付可能位置)

M8(下部ビーム取付可能位置)

M6(側面後ろ/中央パネル取付位置)

下部ビームを実験台フレームに取り付ける穴は3段階あります。
配管などの処理で、障害になる場合のみビームを上に取り付けてください。



通常は下ビームはここへ取り付けてください。
側面後ろ/中央パネル
D750、D900の場合はアジャスターを取り付けてください。
(M8六角ナットではさみ込み)

⚠ ボルトナットの本締めは、天板をセットする前に行い、対角を調整してください。その後天板をセットして水準器等で確認しながらアジャスターを調整してください。アジャスターを回す時は本体を少し持ち上げてください。工具を使って無理に回すとアジャスターの樹脂部分が破損することがあります。

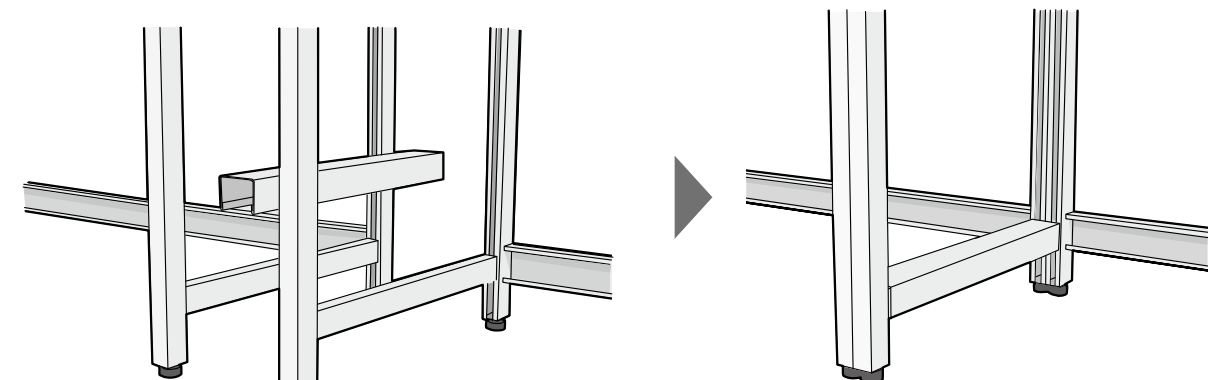
W2400以上の機種によるフレームの横連結

間口サイズ 2400 ~ 3600mmのタイプは本体フレームを2組横に並べて使用する構造になっています。
隣り合った2つの実験台フレームの後ろには側面中央パネル(中央実験台)または側面後ろパネル(サイド実験台)は取り付けません。

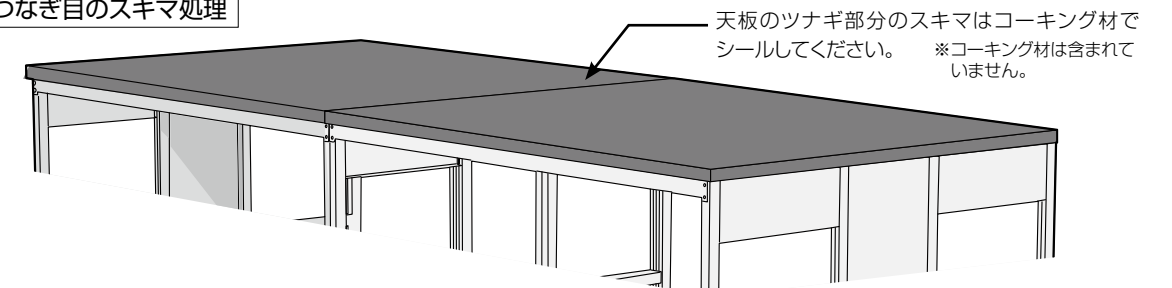
天板連結 アプセットネジM6×15+フランジ付六角ナット
中央用 4ヶ所
サイド用 2ヶ所

ここには側面後ろパネル(サイド実験台)または側面中央パネル(中央実験台)は取り付けません。

2組のフレームを横連結するのは中央実験台、サイド実験台ともに「連結カバー」を使用します。
連結カバーは隣り合った実験台フレームの棧の部分にかはせる要領ではめ込みます。
ボルトは使用しません。
連結はこれで完了です。

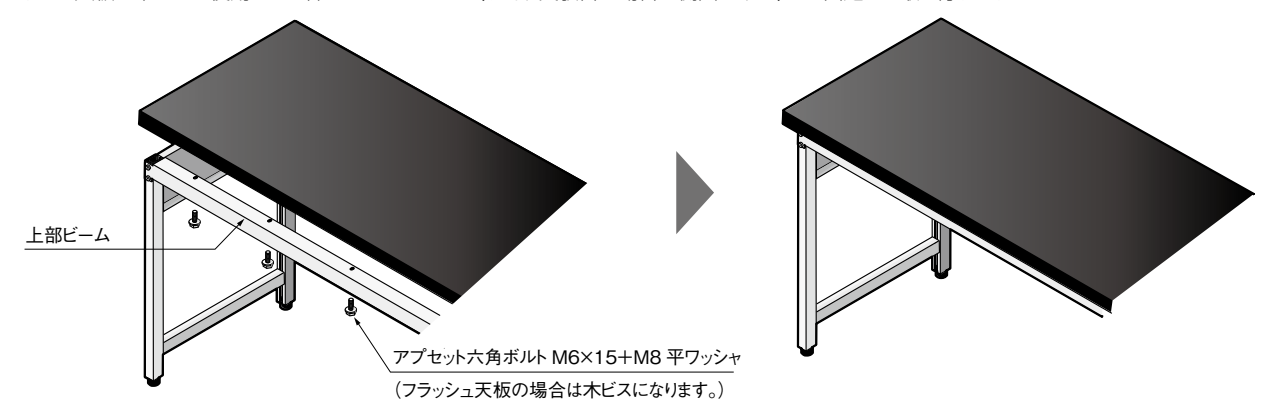


天板つなぎ目のスキマ処理



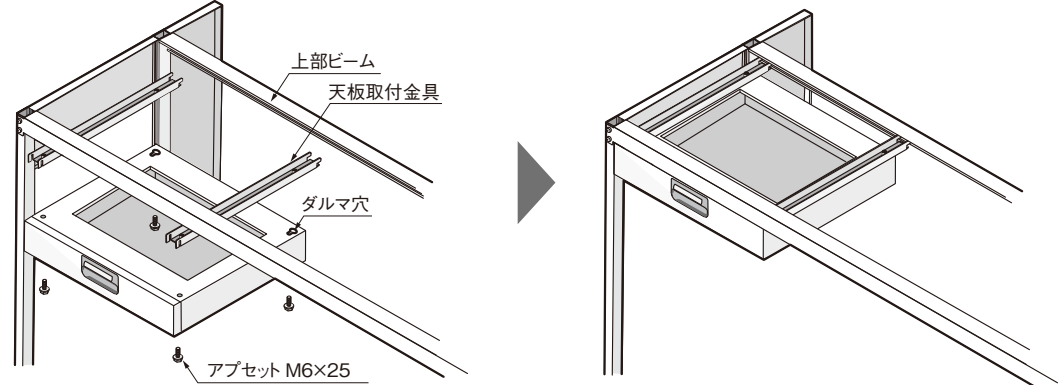
天板の取り付け

フレームの組み立てが完了したら天板を取り付けます。
BF天板、セラミック天板はボルトで上部ビームとフレーム(サイド実験台の場合は側面パネル)とも固定し、取り付けます。
フラッシュ天板は木ビスを使用して上部ビームとフレーム(サイド実験台の場合は側面パネル)とも固定し、取り付けます。



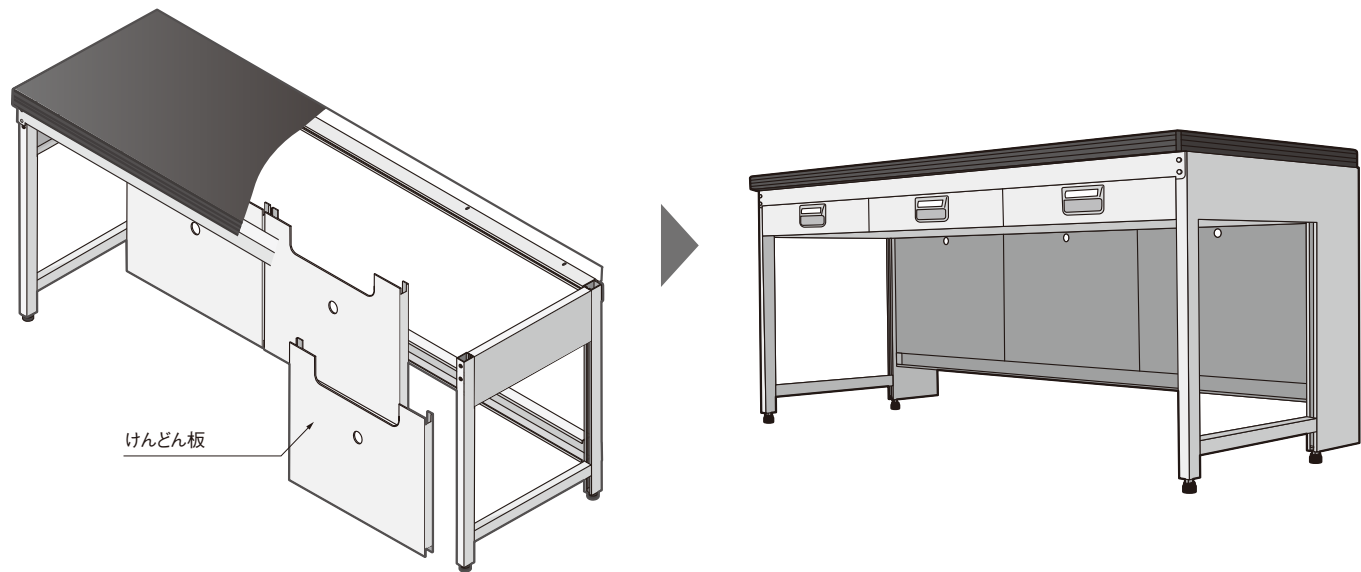
吊り出しの取り付け

吊り出しは天板を取り付ける前でも、取り付けた後でも取り付けることが可能です。
天板取付金具を前後の上部ビームに引っ掛けるようにして取り付け、それに引き出しユニットをボルトで取り付けの要領になります。
上部ビームに引っ掛けた天板取付金具の後部にビスを仮止めし、そのビスに引出しユニット後部のダルマ穴に引っ掛け、次に手前をビスで固定します。
最終的に4ヶ所のビスを本締めしてください。



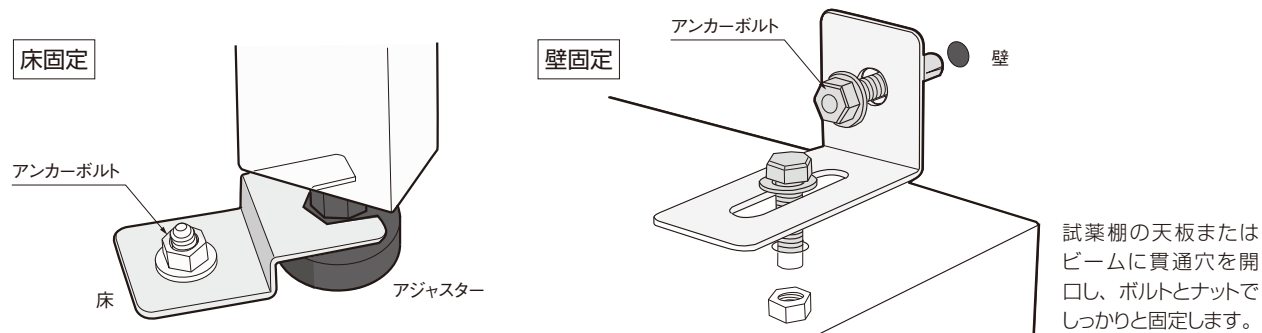
けんどん板の取り付け

けんどん板の構成枚数は間口サイズによって異なります。
配管などの障害物のために下部ビームの位置を最下段から上に変更する場合は、標準のけんどん板は使用できません。特型(受注生産)となります。



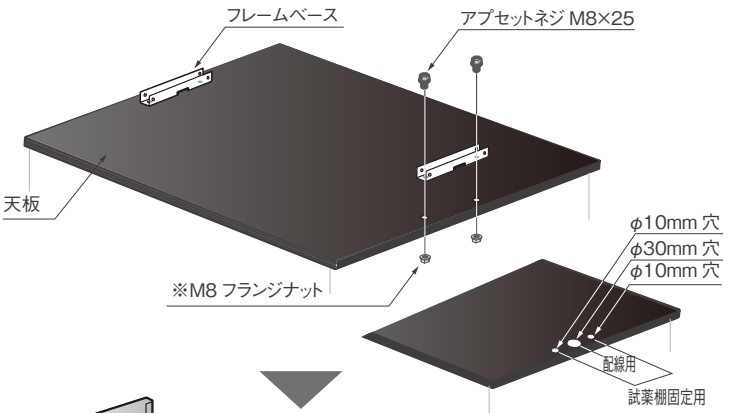
床固定と壁固定(参考)

※本図は参考図です。
本品に床固定、壁固定用の金具およびアンカーボルトなどは含まれていません。
床や壁の材質、設置状況に併せて別途ご用意ください。
なお、本図に示されている金具は弊社でご用意することができます。(別売)
設置時に弊社までご相談ください。

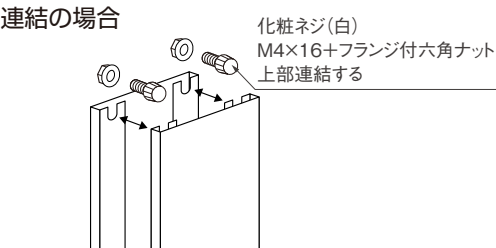


試薬棚の取り付け

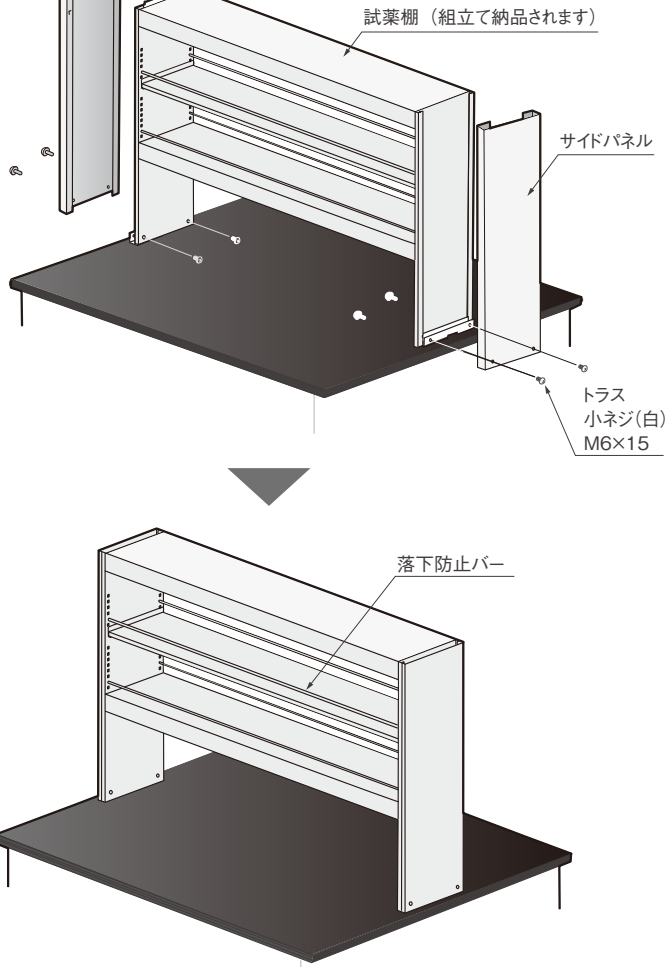
- ①天板にフレームベースを取り付けます。
必ずアプセットねじM8×25とM8フランジナットを使用して、固定してください。
完全な固定ができないので、絶対にドリルビスや木ネジは使わないでください。
- ※連結の場合、連結箇所フレームベースの固定にはフランジナットではなく、板ナット(23×50)を使用します。



- ②試薬棚をフレームベースに取り付けよう、天板上に置きます。
トラス小ネジ(白)を使用して、フレームベースに固定します。
- ③サイドパネルを取り付け、トラス小ネジ(白)を使用し固定します。
サイドパネルは試薬棚本体にはめ込める構成ですが、必ずボルトで固定してください。



- ④ガラス扉やジャングルは試薬棚が天板上に完全に固定されていることを確認してから、取り付けてください。



ワゴン設置時の注意点

- ⚠ 指づめ注意
ワゴンを設置する時は、吊り出しとワゴンの間に指をはさまないように注意してください。
H800mmの実験台の場合、吊り出しとワゴンのすき間は25mmです。

